

ドレミファ器楽

フル・スコア SK-49

天使のウィンク

松田聖子・歌

尾崎亜美 作曲

小島里美 編曲

トップアイドル松田聖子の歌う単なる歌謡曲、と一言で済ませてしまうにはもったいない、演奏し甲斐のある曲です。

この曲は、スローな前半とリズムカルな後半とに分けられます。その意味で、曲のメリハリをつけること、テンポの変わり目に充分注意すること、この二点が、演奏上重要なポイントとなるでしょう。まず前半、ゆったりとした気持ちで、メロディーを引き立てるように、伴奏の人達もよくメロディーを聴きながら、演奏できれば最高です。ピアノは必ずペダル使用のこと。小太鼓とサスペンションシンバルは、是非ブラシを使用してもらいたいのですが、スティックしかない時は、充分音量に注意して演奏すること。イントロのメロディー（鉄琴、リコーダー）は、各々ソロにしてもかまいません。その際には、アコーディオンとの音量のバランスをよく考えて下さい。③の2小節前から、倍の速さにテンポが換わります。③から4小節間は、メロディーよりもリズム感を出す方が大切です。ここからピアノの左手は、8分音符をきざみ始めますが、重要なベーストーンになるので、右手よりも大きめにした方がよいでしょう。又ハイハットシンバルも、リズム感を出す大事な役割。ぜひ単独で加えてほしいもの。（間違っても他のシンバルをたたくかないように）④からが歌の部分。⑤ではメロディーのかけ合いもあります。自分の役割を確認して演奏するように。⑥では今まで流れてきたリズム体がストップしますが、テンポが乱れないよう、要注意。リズムのキメにはアクセントをつけ、パチッと決めましょう。⑦からはまた、リズムにノット演奏を。⑧¹では木、鉄琴に活躍を期待します。⑨²は、サビの最後のフレーズが、エコーのようにくり返される面白い所です。演奏する順序をまちがえないようにしましょう。

尚、⑧¹の中に⑩があるので注意して下さい。

⑩ ハイハットシンバルがない時は、一枚のシンバルを机の上に置いて

たたくこと（間に座ぶとんのようなものをはさむとよい）

アコーディオン、鍵盤ハーモニカ、及び木琴、鉄琴に於て和音が書かれてある箇所は、和音弾きをせず、各々が一つずつ音を弾き、和音をつくって下さい。

(♩ = 66)

フルート
(無くても)
(演奏可能)

ソプラノ
リコーダー

鍵盤
ハーモニカ

ソプラノ
アコーディオン

アルト
アコーディオン

テナー
アコーディオン
(オクターブ
上に記譜)

バス
アコーディオン

木
琴

鉄

Musical notation for Flute, Soprano Recorder, and Keyboard/Harmonica. The Flute part starts with a circled 'A' and a *mp* dynamic. The Soprano Recorder part has a *mp* dynamic and a note marked with a circled 'A' and the text "(Solo ゼッとい)".

Musical notation for Soprano, Alto, and Tenor Accordion, and Bass Accordion. All parts start with a *p* dynamic. The Tenor Accordion part is marked with an octave sign and the text "(オクターブ上に記譜)".

Musical notation for Wood and Iron instruments. The Wood instrument part has a *p* dynamic. The Iron instrument part has a *p* dynamic and is marked with "Brush" and "(S.Cym)".

Musical notation for the piano accompaniment. The right hand part has a *mp* dynamic and the left hand part has a *p* dynamic. The chords are Em, Em, Em, Em, G, D.

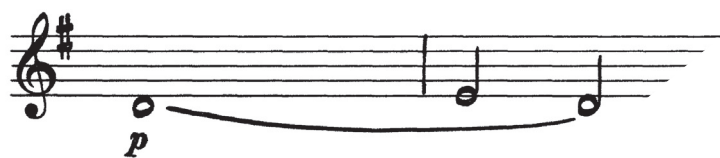
天使のウイング

松田聖子・歌

尾崎亜夢
小島 巽

鍵盤ハーモニカ

(♩=66)



(♩=132)

